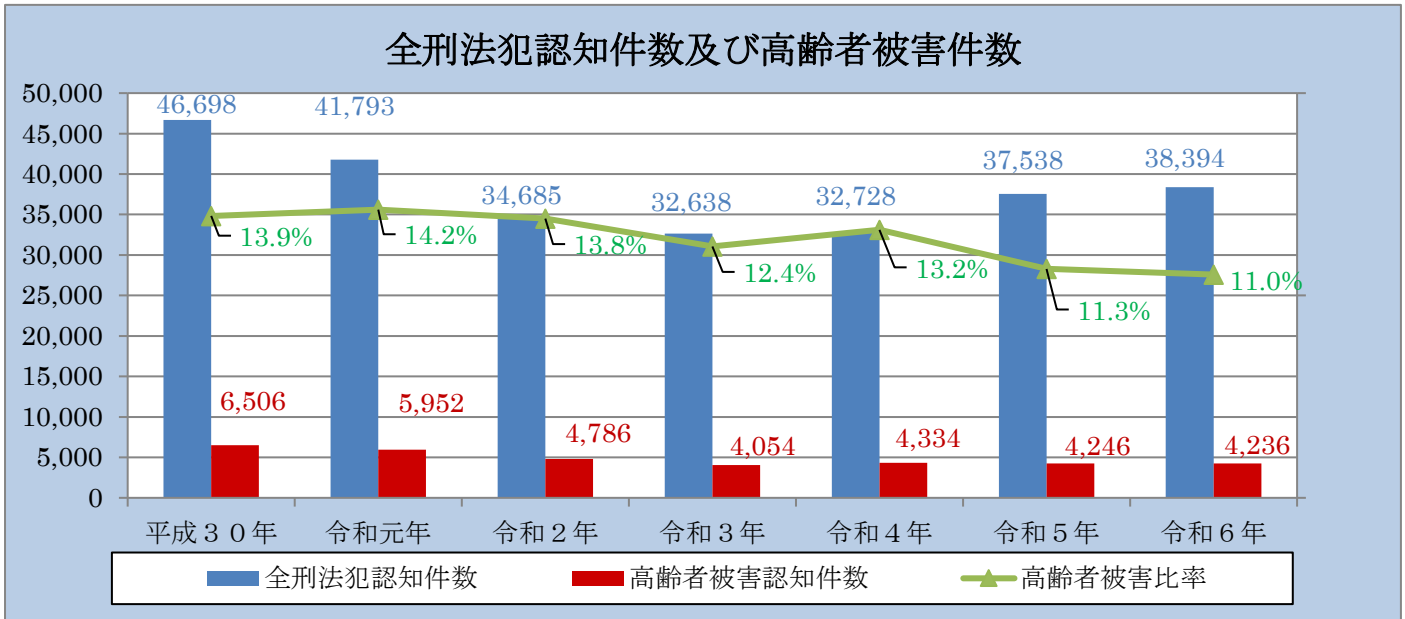
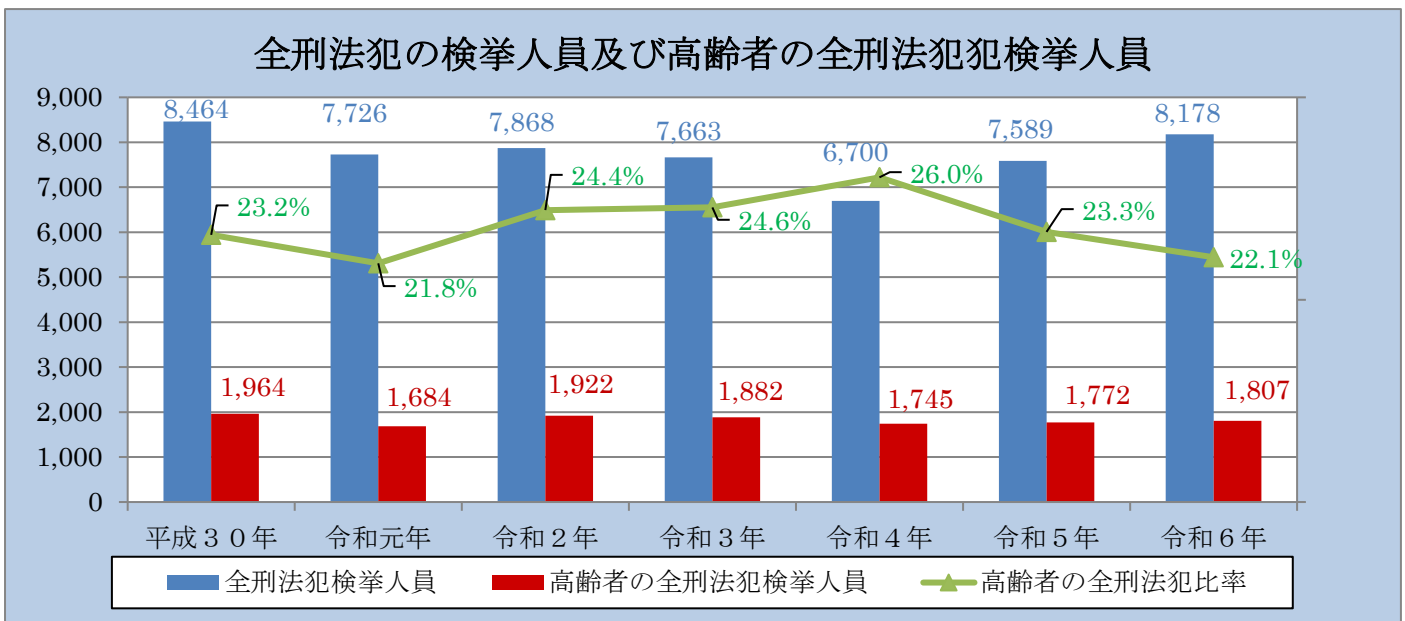


## 高齢者の犯罪被害等の推移



- 全刑法犯認知件数は令和4年以降3年連続で増加しているが、令和6年中の高齢者被害認知件数は前年と比べ、10件減少している。
- 令和6年中における高齢者の被害件数及び全体に占める割合  
被害件数 4,236件（前年比-10件）  
高齢者被害比率 約11.0パーセント（前年比約0.3ポイント減少）



- 全刑法犯検挙人員は、前年と比べ、約7.8%増加しているが、検挙された高齢者数は微増であることから、全刑法犯検挙人員に占める高齢者の比率は減少傾向である。
- 令和6年中に検挙された高齢者数及び全体に占める割合  
検挙人員 1,807人（前年比+35人、約2.0%増加）  
高齢者比率 約22.1パーセント（前年比約1.2ポイント減少）
- 検挙人員のうち、高齢者の割合が多い手口は万引き（35.4%）、置引き（27.4%）、倉庫荒し（25.0%）となる。